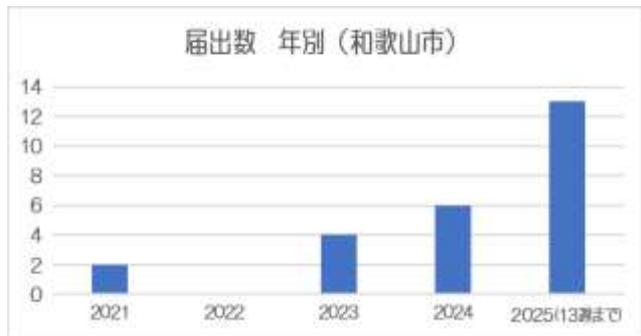


百日咳の届出数が、昨年の件数を超えています

百日咳はCOVID-19の影響で2021年から2024年にかけて激減していましたが、令和7年第1週から第13週までの和歌山市内での発生届出数が13件と、既に昨年1年間の発生届出数を超えています。



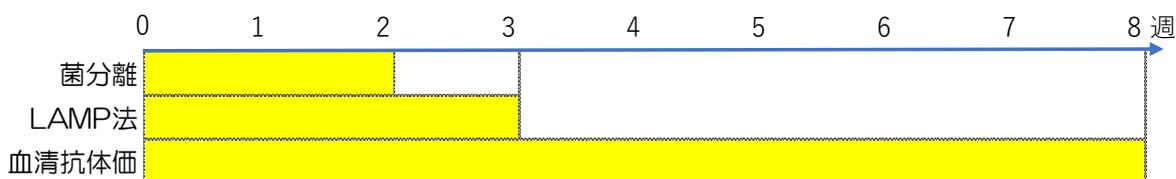
年齢階級別には小学生以下、症状別では、「持続する咳」「夜間の咳込み」が多く、「スタッカート」や「ウープ」等の百日咳に特徴的な症状があまりみられない傾向にあります。

疑われる症例を診察した場合、感度・特異度が高い百日咳LAMP法を積極的に活用いただきますようお願いいたします。なお、『感染症法に基づく医師届出ガイドライン百日咳（第三版）』が、令和7年3月26日付けで発出されましたので、ご確認ください。

【令和7年 百日咳発生届症例】

	届出週	年齢	性別	症状						診断方法	ワクチン接種歴
				持続する咳	夜間咳込み	呼吸苦	スタッカート	ウープ	嘔吐		
1	3	9	女	○	○					lgM/lgA	4回
2	5	9	女	○	○					lgG	4回
3	6	7	女	○	○		○			LAMP法	4回
4	9	10	女	○	○					lgG	4回
5	10	8	女	○					○	ペア血清	4回
6	11	14	女	○	○				○	lgG	4回
7	11	7	男	○	○					lgM/lgA	4回
8	12	54	男	○						lgG	不明
9	12	9	男	○						lgM	4回
10	12	7	女	○	○	○		○	○	lgM	4回
11	12	36	女	○						lgM	不明
12	13	13	男	○	○					lgM/lgA	4回
13	13	5	女	○	○			○		lgM/lgA	4回

【検査推奨期間】 ↓ 発症日



感染症法に基づく医師届出ガイドラインより